

平成28年度 第6回観察会 記録

日 時	2016 年 10 月 3 日 (月) ～10 月 5 日 (水)
観察地	長野県信濃町方面 野尻湖・黒姫高原
講 師	ナウマンゾウ博物館館長 近藤洋一先生 アファンの森 石井先生
テーマ	黒姫・妙高・戸隠の山々に囲まれた信濃町で、かつて象がいた野尻湖での発掘や自然について、また C.W ニコルさんが日本の森の荒廃を知り、再生させた森の意義と維持の困難さを知る。
備 考	参加者数 30 名 (田中克先生・スタッフ 3 名含む) 記録 渡邊啓子

＊日程

台風も心配されたが大した雨にもあわず、全行程ほぼ予定通りに終える。

10/3 (月)	新大阪駅 8:30 発【ひかり 512 号】⇒ 9:25 着 名古屋駅 10:00 発⇒ ワイドビューしなの 7 号⇒ 長野駅着 12:54 着⇒ (バス) ⇒ 13:50 戸隠神社・戸隠森林植物園 16:30 ⇒ (バス) ⇒ 17:30 野尻湖畔 藤屋旅館 (泊) <田中先生は京都から合流>
10/4 (火)	藤屋旅館 8:45 ⇒ 歩行で遊覧船乗り場へ⇒ 9:00 遊覧船乗船 近藤先生より野尻湖について聞く その後ナウマンゾウ博物館見学 11:30 ⇒ (バス) ⇒ 11:45 道の駅しなの 昼食と買物 13:00 ⇒ 13:30 アファンの森 16:10 ⇒ (バス) ⇒ 16:40 ホテル若月 (泊)
10/5 (水)	ホテル若月 8:50⇒(バス)⇒9:00 黒姫童話館・黒姫ギャラリー・いわさきちひろ黒姫山荘 10:30 ⇒ (バス) ⇒ 10:45 一茶記念館・村の鍛冶屋 (中村家住宅) 12:15 ⇒ (バス) ⇒ 12:30 昼食そば処たかさわ 13:15 ⇒ 14:00 上越妙高駅 14:21 発【はくたか 563 号】⇒ 15:25 金沢駅着 16:00 発 ⇒ (サンダーバード 34 号) ⇒ 大阪駅着 18:39 解散

＊内容について

- <1 日目> ・戸隠神社奥社までの道や階段が濡れていたこともあり結構厳しく、結局神社まで行かない人もいた。
・夕食時信濃町に移住された植村夫妻と懇談し、現地での活動と生活について聞く。
- <2 日目> ・遊覧船上で野尻湖の成り立ちやナウマンゾウ発掘について、近藤先生はこれ程楽しいことはないという風に面白く楽し気に解説される。「僕の夢は野尻湖から 4 万年前の人の骨が出ること」とのこと。
・アファンの森では、その殆んどをひとりで整備されている石井敦司さんから話を聞きながら散策する。美しい雑木林で気持ち良い時間を過ごす、その管理に苦心されている様子もうかがえた。
・ホテル若月では、参加者の手品披露などもあり懇親会で盛り上がった。
- <3 日目> ・童話館からの眺めは雄大で、いわさきちひろの山荘では居心地よい空間を実感する。
・一茶記念館では学芸員からの案内もあり少し時間も不足気味であったが、中村家住宅もナウマンゾウ博物館の渡辺さんに案内頂くことができよかった。

＊参加者の感想

- 今回の観察会は終始和やかで楽しかった。長年の憧れの地であった信州信濃に行くことができ、また数年来夢にまでみたミズスマシを目の前で見られたのも今回の収穫だった。
- 野尻湖周辺では本当にナウマンゾウが歩き回っていたことが実感でき、また館長さんの発掘についての話に感動し、未来の子供たちに託す熱い思いにエネルギーをもらえた。
- 充実した 3 日間でした。戸隠神社・森林植物園はもう少しゆとりをもって回りたいかったが、神秘的な雰囲気に入れることができた。野尻湖・博物館での近藤先生の話、アファンの森の石川さんの話と散策、どちらも魅力あるお話だった。植村夫妻も素敵な生き方をされていると思った。田中先生の絆の広さを感じた。以上

